



機械班、ロボットコンテスト全国大会出場。入場行進(関連記事は4面をご覧ください)

同窓会報

発行者
上田千曲高等学校同窓会
事務局 TEL 0268-22-7070

印刷所
(有)アオヤギ印刷

北信越大会出場にあたって

野球部長 新津 尚治

同窓生の皆様には日頃よりご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

このたび、野球班は初の北信越大会出場をはたし、6月4日には富山市民球場で石川県代表の遊学館高校と対戦することになりました。甲子園で名を馳せた強豪校と対戦できたことに変な喜びを感じます。大会ではベストをつくし4対3と勝利を収めることが出来ました。この同窓会報が出る頃には夏の大会をめざし練習にもますます熱が入っていることでしょう。

日置監督就任から4年目。就任1年目は久しぶりの県大会出場。2年目にはベスト16までコンスタントに勝てるようになり、昨年は春・夏ベスト8。そして今回の北信越大会出場と戦績だけみれば順風満帆のようにみえます。しかし、チームを作り、まとめるためには幾多の困難に必ずつきあわたります。そのような中、監督、キャプテンを中心として試行錯誤をくりかえす毎日です。同窓生の皆さんや、OBの方たちに多くの示唆や叱咤や激励をいただくことが大切なカンフル剤となっています。

野球は個人種目ではないので個々の選手の技術力を上げるのはもちろん重要ですが、チームをいかに作っていくかが重要です。現在54名の部員がおり、ベンチに入れるのは18名でしかありません。要するに部員の3分の1しかベンチに入ることができないのです。しかし、ベンチに入れない班員にも仕事があり、それぞれの仕事の意味をしっかりと把握し行うことよって、ようやくチームとしてのまとまりができてくるのです。そして、今回の大会ではうまく歯車がかみ合い54名全員で戦えたことが最も大きな収穫でした。



上田市長表敬訪問

以下、北信越大会出場にいたる軌跡を記しましたが、(8面をご覧ください。)9試合の中で1点差の試合が実に6試合もありました。裏を返して言えばそれぞれのチームの差はほとんど無く、いつでもその勝敗が逆転する可能性があったということです。今大会では生徒たちが自分たちの潜在能力を最大限に引き出すことができたのが大きな勝因であったと思います。いよいよ夏の大会がはじまり、甲子園を目指していくわけですが、今回の結果に倣うことなく、謙虚な気持ちで戦うことができれば勝機も自ずから生じていく可能性もあります。

ぜひ今後とも応援をよろしくお願いたします。



講師紹介
坂口光治さん

平成16年度 上田千曲高校 同窓会総会のご案内

日時/平成一六年七月三日(土)
 受付/午後一時より
 総会/二時より
 講師/坂口光治氏
 演題/温故創新「Only One」
 懇親会/四時頃の予定
 場所/上田東急イン (024-0106)
 会費/三千元(受付にて)
 申込締切/六月二十八日(月)
 申込先/千曲高校同窓会へ葉書
 又はFAXでお申込下さい。
 (FAX)0268-23-5070

- 昭和三十九年/長野県上田千曲高校卒業
 昭和四十三年/日本電子専門学校卒業
 昭和四十四年/同校情報部教員
 昭和五十五年/慶応大学経済学部卒業
 昭和六十一年/東京都議会議員初当選
 平成四年/東京都監査委員
 平成五年/社会市民ネット政調会長
 平成九年/東京都議会民主党政調会長
 平成十年/都議会財政委員会委員長
 平成十三年/都議会総務委員会委員長
 平成十六年/現在5期目、芸術文化振興議員連盟副会長・都医学研究機構評議員・都日中友好協会顧問等歴任
- URL: <http://www.sakaguchikojin.net/>

千曲健児、ベストを尽くせ

全日制教頭 宮島 範雄



若葉の候、同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の発展と生徒の健全育成のため、クラブ活動の援助や環境整備として校内の緑化整備など物心両面において多大なご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今春、白色の大きな木蓮の花が美しく咲く中、新しい高校入試を突破して入学した新入生とともに、駒ヶ根工業高校より本校に赴任しました。本校は全日制に建築科・機械科・電子機械科・電気科・商業科・食物栄養科・生活福祉科の七学科、定時制に機械科を併設する県下でも有数の総合専門高校であり、地域や産業界から大きな期待を背負っていることを念頭に置き、本校の発展のために微力ながら努力する所存でありますのでよろしくご指導、ご鞭撻をお願い致します。さて、ここで近況を報告させていただきます。

運動班は先生方の熱心な指導と意欲的に目標に向かって努力する生徒達で活気にあふれる活動をしております、特にソフトテニス班

と野球班の活躍が著しい。ソフトテニス班は昨年のインターハイ出場に続き、四月に伊那市で行われた第五十九回国民体育大会ソフトテニス少年少女長野県選考会で二年生の浅野、徳武ペアが優勝し、六月に札幌市で行うハイスクールジャパンカップソフトテニス大会二〇〇四に長野県代表として出場する。また、野球班は野球部を育てる会のバックアップもあり、第一百回春季北信越高校野球球長野県大会で準優勝し、六月に富山県で行う北信越高校野球大会に長野県代表として初の出場を決めた。早速、上田市役所



で母袋上田市長を表敬訪問して大会報告を行い、市長から、両班の快挙に御祝いと激励の言葉を頂いた。また、同窓会の援助をいただき玄関先に垂れ幕をさげ、学校の意気を挙げている。一方、文化班も運動班に負けじと頑張っており中でも、長野県トップクラスの實力を誇る簿記班の全国大会での活躍、機械班の昨年に続く全国ロボコン大会への出場に期待がかかる。孔子が論語の中で「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」と言っている。班活動で得た英気を学習や生徒会活動に生かし、日常の努力の過程を楽しめるようになって大きな成果を出してほしいと願う。

高校改革・高校再編の大きなうねりの中、本校が各専門科の特色を生かしてその存在価値を示し、地域や産業界から如何に信頼を得て評価されるか、真価が問われる時である。学校自己評価、学校評議員や保護者による外部評価、教員評価など学校での教育活動はすべて計画に対する結果で評価され、説明責任を求められる時代に突入した。長い歴史と伝統を誇る本校が、東信地域の中核の総合専門高校として、時代の要請に添えて更に発展することを目指して校内でも本校の将来像を模索しているが、同窓生諸氏の叱咤激励とご支援を切にお願いしたい。

「人脈は財産」

斎藤 盛人(59歳)



高校時代の私は、俗に言う「不良」でした。担任、副担任はじめ、

生活指導の先生方にご迷惑をお掛けしたこと、両親に不安な思いをさせたこと、卒業後20年を経た今、あらためて反省すると同時に感謝の念に絶えません。そんな、「厄介者」であった私も無事卒業をさせていただき、電子部品を製造する企業に就職することができました。生産設備の設計を主に、数え切れないほどの貴重な経験は今尚、役立っています。紆余曲折の末に、両親から兄が継ぎ、細々と営んでいた家業に従事して以来、一意専心に努めてまいりました。

一昨年、社員の皆さんをはじめ、関連企業様のご理解をいただき、株式会社サイトリネンサプライの代表取締役社長に就任し、企業理念を目指し、地域社会の信頼をいただけるよう、日々、業務に取り組んでおります。私は、一人の社会人として、経済人として、日頃、大切にしていることの一つに、「人脈は財産である」と考えています。激変する産業社会で、そのテンポの速さに自分の進むべき方向や

事の本質を見失っては、目標を達成させることはできません。それ以前に、目標を定め、自助努力の精神を忘れず、強い信念を持って決意することが必要ですが、どんなに激変する嵐の中でも、世の中がどう変わろうとも基本は「人」であり、「知価社会」が重要視されるのは、人から発せられた「活きた情報」から短時間で一つ迷いを取り払い、確信ある選択をすることが出来るためであると考えます。いかなる時代でも、成功者には良い「師と友」がいます。人脈という財産の上に幾重にも積み重なる結果が、その人の精神、言動、人格を形成しているのだと思います。個人の価値観の多様化や個性化が進んでも、人間関係における基本的なセオリーは変わるものではないし、複雑化するこの時代に、今、あらためてしっかりと認識することが必要であると考えます。

私は本年度、社団法人上田青年会議所、第46代理事長を拝命し、幸運にも毎日そのことを実感しています。貴重な経験をいただくなかで、私たち青年の創造力こそが、次代を担う子供たちの、活力ある上小広域社会の、惹いては日本の明るい将来を拓く原動力となると確信し、地域の皆様方のご指導をいただきながら、責任を持ち使命を誇りに活動しております。終わりに、後輩の皆さんに一言、思いを込めて贈ります。

「志をたてよう。命をかけるほどの強い思いで志をたてれば、事はもはや半ば達せられたと言つてよい。」——松下幸之助——

末筆ではございますが、上田千曲高校の益々のご発展とご活躍、また、同窓会皆様のご健勝を心より祈念申し上げ、結びとさせていただきます。

気になる カンボジアの子供達

寄稿 西沢 泰子

はじめまして、私は千曲高校卒業生の母親です。過日、自詠展(自分の短歌、俳句、詩を書き表現する)をいたしましたことで、校長先生、教頭先生、手塚先生、その上事務の方にもお手数をおかけ致しました。今回記事掲載のお話を頂き、言葉足らずですが、お礼と共に話し申し上げます。カンボジアは遺跡アンコールワツ



リヴイン自詠展会場 (平成16年3月8日)

トと共にとても気になる国です。内戦からの悲惨なことは何回もメディアを通じて知り、山と積まれた頭蓋骨の映像はいつまでも消えることはありません。

何年もアンコール遺跡を訪ねたいと願っていたことが実現出来た一九九九年、初めてアンコール遺跡をツアーで訪ね、その時出逢った遺跡を駆け回って物を売る子供達、観光客に媚びる(今はなくなりました)子供達、どこか国でも子供達は屈託なく笑い眼を輝かせておりますが、カンボジアの子供達の輝かせている眼の奥の悲しそうな視線がとても気になります。又、アンコールトムの四面仏の間で、手足を地雷で失くして座る人の手を合わせる姿に目眩した事。それから何回か訪ねても何も出来ない自分がとても淋しくなるばかりでした。

いつの頃から千曲高校の文化祭で、カンボジアへの支援、交流が進められていることを知り、その報告のパネルや写真でよりカンボジアの実状を実感出来るようになると同時に、私の中のこだわりとなりましたが、唯気になるだけで何をする方法も見当らないまま、毎年文化祭に伺うことで少し気の休まりとなつておりました。

友人と自詠展の話が出た時、つかえているカンボジアをテーマにしようと思いました。素足の少年と題して九篇の詩を何とか十一点の作品にしてカンボジアのこと

を少しでも知って頂こうと思い、恥しい作品を並べ、三人で三十点の作品展が出来ました。

お蔭様で思いの外沢山の方々に来て頂き、その後もカンボジアの子供達について友人知人と話を持つことが出来、自己満足かも知れませんが胸の間が少し溶けていくようです。その上手塚先生からはカンボジアを知る文書類を頂き、ほんやりしていた眼の先が開けたように思います。

又、今年も千曲祭を楽しみにしております。

IT技術による建築生産の効率化を考える

株式会社リモデル 代表取締役

志津田 輝生(45歳)



会員の皆様におかれましては御健勝で御過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度、弊社で運用している遠隔地動画像現場管理システムについて開発に至った経過と現状について寄稿の依頼が同窓会事務局様よりありましたので僭越ですが誌面をお借りしてご紹介させて頂きま

弊社は、上田市内で規模は小さいのですが建設関連の業務を多岐に渡って営んでおります。そんな中でIT技術で建築生産の効率化を図る事ができないか研究開発して参りました。実際の業務をこなしながら並行してソフトを構築して行く作業の連続でしたが、それが功を奏して「使えて役に立つソフト」が出来たのではないかと自認しております。特に積算ソフトについては自社の積算受注業務に活用し県内外の顧客から好評を得ています。

外注の建築技術者にソフトを配信しインターネットを介して当社のネットワークと結び、その成果を当社のパソコンで吸い上げるといシステムを構築した事によって効率化が図られスピードアップとコスト削減が可能となりました。

これからの建設産業の勤務形態としてどんどん活用して行くべきではないかと考えます。構造的な建設不況により仕事が激減しているため今までのテリトリーを広げ遠隔地での受注を余儀なくされている会社も多いと思います。当社もその例外では無く、遠くは山梨県、埼玉県まで足を伸ばしております。実際に作業する業者は現地でも有能な業者を手当てすれば良いのですが、工程管理、安全管理については自分の目で見ないと判断できない部分があります。そこで会社に居ながらにして

現場の管理ができないか研究を進めて参りましたところ、NTTの情報インフラが進みインターネット回線使用料の低価格化と大容量の情報電話回線により送信可能となりましたので市販のカメラを組み合わせ「遠隔地動画管理システム」の開発にこぎつけました。このシステムを利用するとインターネット環境が整っている会社あるいは自宅のパソコンで遠隔地のカメラを自分で操作しながら動画像により現地の状況が確認でき又関係者も同じ情報が共有できるというものです。当社では施工中の全現場に導入し現場作業の効率化を図っています。

現在ニューヨーク在住の方の別荘を県内で手がけておりますが施主との打合せもスムーズに進んでいます。

尚、業務の一貫として他社へのリリースも行っており、兵庫県、石市、大阪府内、岐阜県、高山市等の建設現場で稼働しております。建設現場に限らず介護施設、教育施設などの管理システムとして広く活用できるのではないかと考えます。実際に稼働している様子が当社のホームページで御覧になれますので別添のアドレスにクリックしてみてください。

同窓会会員の皆様のご多幸を祈念すると共に在校生諸君のご健闘をお祈りします。

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/remodel/>

ロボット競技大会出場

機械班



機械班は機械科・電子機械科・電気科の生徒9名で活動しています。

昨年(平成15年)は3年生が5名、1年生が6名で、活動内容はロボコンに向けての活動が主でした。昨年のロボコン競技大会(ロボコン)の課題は、開催地北海道にちなんで特産の団扇芋を、納屋からコンテナを持って行き、畑ゾーンA・B・Cの畝から芋にみだてた軟式ボール(A球・C球)を選別しそれぞれ別のコンテナに入れ、納屋に納めるといって、3分間の競技である。

9月28日の県大会「ロボコンI N信州」では、参加28チームが課題が難しい中、決勝戦は上田千曲高校同士の戦いとなり、3年生が優勝・1年生が準優勝となった。全国大会へは3年生・1年生の2チームが出場する事が決まった。今年の全国大会は、北海道札幌市の道立総合センター「きたえーる」で全国より192チームが参加しおこなわれた。結果は3年1年が、全国で100位・115位になりました。大きな大会でそれぞれの力を出せたことは、納得できる結果だと思えます。全国のレベルは高く満点(390点)が多数出て、我々が不可能と思っていることを、やってしまう所が全国大会であると感じました。この

大会を経験した今年の2年生は、全国大会での上位を目指して活動しています。

連続十二年全国大会出場を目指して猛練習中

簿記班顧問

城下 功



ここ数年は毎年県大会で準優勝に終わっているので、今年こそは団体優勝を目指して目下猛練習中です。

昨年までの活動成績は、県大会団体準優勝六回、三位四回であり、信越大会でも同じ様な成績でしたが、東日本大会では優勝、全国大会で団体三等入賞と個人入賞六名という実績です。昨年度の実績は、

●**県大会** 団体準優勝、個人入賞は池田美穂、清水真末、小林美晴
●**信越大会** 団体三位、個人入賞は北沢美奈子、小林美晴、新人戦で宮沢牧、山崎夕紀子です。二つの全国大会に出場し好成績を残しました。一昨年の実績は県大会での団体優勝と個人で



上田市長表敬訪問(平成15年7月17日)

<http://www7.ueda.ne.jp/doso-chikuma/doso-chikuma@po7.ueda.ne.jp>

も長野県チャンピオンを目指して目下「己に克つ」こと自己変革を求めて特訓中です。同窓生の皆様のご支援をお願いする次第です。

野球部を育てる会の活動

事務局 山本 光雄 (39歳)

さわやかな季節を迎え、皆様には各方面で、ご活躍のこととお慶び申しあげます。

日頃より同窓会員の皆様には「野球部を育てる会」の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。

「育てる会」が発足したしまして四年目になりますが、同窓生の皆様から一時期の野球部の低迷に、「何としても野球部を強くしたい!」との強い要望をいただき、同窓会組織の一部として平成十二年十一月に発足いたしました。



主な活動は、野球部OB会と連携し、資金集め(地元企業への協賛依頼、同窓生への寄付のお願い)と、練習環境の整備等であり、学校のご理解もあり、ナイター照明の増設、防球ネットの増設、バックアウトの改築、スタンドの新設、土の入れ替え等充実した設備が整いつつあります。その間野球部の成績は上昇の一途にあり、春季

大会には初の北信越大会出場を果たし、新聞報道で母校の活躍に一喜一憂の毎日でした。同窓生の皆様には、一層のご支援をお願いし「上田千曲高校野球部を育てる会」の活動を続けてまいります。

野球部ホームページ

顧問 関間 俊文 (60歳)

一昨年よりホームページにて野球部の活動について掲載をさせていただいており、おかげさまで沢山の皆様にご覧いただいております。昨年、諸々の都合で個人を特定する写真・表現を控えましたが、「内容が寂しくなつた」とのお声を頂き、この度、同窓生の皆様をはじめとする関係の方々専用の「関係者のページ」を作成いたしました。このページをご覧いただくには、手順を参考に、パスワード「open」を入力してログインすることで可能となります。チームのより詳しい活動内容をお楽しみ下さい。

志しの会

志しの会会長 細谷 和俊 (48歳)

会員各位におかれましては、日々各方面にてご活躍のこと、なによりと存じ上げます。

早速では御座いますが、この度、日置電機株式会社に勤務する千曲高校卒業生の社員からなる「志しの会」なるものを発足致しました。「志しの会」は、あくまでインフォーマルな集いではありますが、ここに「挨拶を兼ねて簡単では御座いますがご紹介申し上げます。

現在、日置電機(株)においては「人間性の尊重」、「社会への貢献」という「HIOKI」の理念に基づいて企業活動を営んでおります。特に「社会への貢献」の理念に基づいての地域貢献活動は幅広く積極的な活動が行われております。(詳しくは、HIOKIホームページ <http://www.hioki.co.jp/ai/>をご覧ください)

この様な会社環境の中、昨年一部の千曲高校卒業生OB社員より母校千曲高校への社会貢献活動の提案があり、社内千曲高校卒業生OB全員に問いかけたところ大勢の賛同を戴きこの会の発足とあいなりました。この会の活動の詳細は別として、今日日本経済にも多少の明るい光が差し込み出しているかの様には見えます。しかし日本の将来そして日本を取り巻く環境にはやはり厳しいものを感じざるを得ません。

その日本の将来を日本経済を支えていくのは優秀な人材であり、これからの若い人達であることは間違いありません。要は今最も大切なのはこれからの若い人達への人材育成というドメインにおける活性化と支援ということになります。

我々の会の発足が多少なりとも、この人材育成のそして地域貢献につながれば、この上ない喜びとなり得るものと信じております。千曲高校と地域の発展、並びに会員各位のますますのご活躍を祈念申し上げます。

県総体三連覇

ソフトテニス班

日頃よりソフトテニス班の活動にご理解とご支援を賜りますことと深く感謝いたします。

六月四日の県高校総合体育大会におきまして、念願の男子団体戦三年連続優勝を達成いたしました。初戦の阿南から、屋代、長野日大、阿智といずれも厳しい勝負が続きました。決勝で上田を下した瞬間、緊張から解放された選手たちの歓喜の涙は実に感動的なものでし



た。また、翌日の男子個人戦でも中田・渡邊組が優勝、浅野・徳武組が三位となりました。北信越大会は団体・個人四組が、八月に松江市で開催されるインターハイへは団体・個人二組が出場いたします。なお、女子団体戦では阿智に競り勝ち、久しぶりに県大会一勝をあげ、今後を期待するところでした。

また、四月末の国体県選考会で優勝した浅野・徳武組は、六月下旬に札幌市で開催される第三十三回ハイスクールジャパンカップに県唯一の代表として出場します。本班男子としては初出場となります。

全国を舞台に活躍できるようにと、更なる飛躍を目指して一生懸命に取り組んでおりますので、今後とも皆様のご協力宜しくお願い致します。

勝つことを常に意識

男子バスケットボール班

五月の東信大会の一回戦目の相手は丸実でした。丸実は前評判が良く、他校の人達は、「丸実が勝つ」と思っていた様でした。しかし僕達は絶対勝つという気持ちで挑みました。すると、いつも以上の力が出て、試合の流れもずつといい流れでした。そして僕達は勝ちました。しかし二回戦目に上田と対戦し負けてしまい、東信六位で県大会へ出場しました。県



大会の相手は長野日大でした。絶対勝つという気持ちで挑みましたが負けしまいました。そして三年選手

二人とマネージャー二人は引退しました。僕達三年が達成できなかった、東信四位以内に入る事、県大会二回戦進出という目標を、後輩達が出来るように頑張つてもらいたいです。

最後に顧問の先生方、保護者の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。これから千曲の男バスが強くなるよう頑張つて下さい。「応援します!!」

仲間

男子バレーボール班

高校生活の中で、どれくらい体育館に居ただろうか。昨年の成績を目指し、辛い練習を頑張った。結果的に、県大会ベスト16で終わってしまったが、得たものがあつた。それは、辛い日々を共に過ごした仲間達だ。

毎日の練習でうまくいかないことがあつて落ち込む時が多々あつた。でも、絶対に投げ出すことはなかった。辛い日々を耐えた仲間

と、それを陰でしっかりと支えてくれるマネージャー、顧問の先生、保護者の方々がいたからだ。自分を信じ、仲間を信じ、チームの為に頑張りがあえた仲間。その仲間達とのかけがえのない思い出と、バレーボールをやらせてくれた親への感謝の気持ちを大切にしていきたい。

大会を終えて

女子バレーボール班

五月十四日、私たち三年生にとつて最後のインターハイ予選が始まりました。東信大会では決勝まで勝ち進み、決勝の相手は私たちにとつて最大のライバルの上田東でした。

第一セットは先取しましたが、第二、第三セットと「優勝」というプレッシャーから焦りを感じ、自分達のバレーが出来ずにセットを取られてしまいました。逃げました。



六月五日 県予選が始まり、一回戦は勝ち二回戦は伊那北でした。第一セットは取りましたが、第二、第三と取られてしまい結果はベスト16という成績でした。

でも、女子バレー班に入ったこと

により、仲間とのたくさんの思い出が大きな宝物です。そしてこれから先、ここで学んだことを色々な面で役立てていきたいと思っております。

関東支部だより

関東支部会長 深町 共榮(37・電)



同窓会の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。平成15年の関東支部総会は、11月24

日(日)健保会館「はあとん乃木坂」にて、飯島学校長、宮澤、山浦両副会長、恩師の丸山、綿貫先生をお招きし、約100名の参加を得て盛大に開催されました。笹井弘氏(昭46年・機卒)に「エゴジ」とアートの基調講演を、アトラクションには、歌手の黒木悦子さんと山崎孝美さんに「出演いただきました。昨年は京都から上田からも参加がありました。今年もまた楽しく有意義な時がもてるように準備をしておりますので、お知り合いの方々にお声を掛け合いながらご出席の程願います。(今年の総会、11月28日(日)を予定)



水泳班北信越大会出場

水泳班班長 宮入 康平

せん。一年時からの計画的な学習の積み重ねや目標を持ち続けられるかが課題です。専門学校の進学については、実学志向であり、技術・資格取得のできる学校選択へと生徒保護者の目は向いています。

日頃より水泳班の活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

一昨年、七月に行われました県大会にて、男子八〇〇メートルでも六位入賞を果たし、念願であった北信越大会に出場することができました。

北信越大会では、決勝進出とはなりませんでしたが、緊張と興奮の中、自分達のベストタイムで

泳ぐことが出来ました。本当に我々選手にとつては、とても貴重な経験となりました。

今年度水泳班は、まず昨年の東信大会総合三位から、さらに上位を目指すことを第一目標に置き、多くの班員が北信越大会出場まで勝ち進み、その北信越大会で決勝の舞台に立つことを最大の目標として、男女共一生懸命練習に励んでおります。

今後とも同窓会の皆様の応援とご協力をよろしくお願い致します。

創立九十周年記念事業の協力依頼

同窓会副会長 宮澤 令行(33歳)

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。又、日頃は同窓会活動に多大なるご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、去る五月十九日に行われました理事及び代議員会において、創立九十周年記念式典の開催が決まりました。元来本校においては、過去二十年毎に開催されており、平成九年十月に八十周年の式典を開催した時点では、今回は百周年に開催となつていました。しかしながら、昨今の学校を取り巻く教育情勢や、少子化問題等社会情勢が目まぐるしく変化する中で、二十年の間隔は長すぎるというご意見や、他校に

見られるように十年が一区切りだとする声があることから、平成十九年に九十周年式典の開催を実施する運びとなった次第です。

つきましては、遅まきながら現在式典に向けての記念事業の計画に着手し、来る七月三日に開催されます総会においてご承認され次第実行委員会を立ち上げ、本格的に始動していく予定です。事業の内容としては、現在実施中の同窓会名簿もその一環ですが、そのほかに、記念誌の発行、著名人による市民会館での講演会、先ごろ野球部やテニス部を始めとする運動部員の活躍は過去に無い成績を上げていますが、それに伴い要望の有るウエートトレーニングルームの増設等が上がっています。長い経済不況が続く中大変心苦しいことではありますが、事業の実施に対しお手伝いを願いましたら、浄財の依頼が届きましたら、母校の発展にご理解を賜り充実した式典が出来ますようご協力をお願い申し上げます。

定時制の近況

定時制教頭 鈴木 詩郎

どこからともなく、いつやむとも知れず蛙の鳴き声が耳に届く今日このごろです。

平素より会員の皆様には定時制教育の活動と振興のためにご理解とご助力を賜り、心から感謝申し上げます。特に昨年度は



申し上げます。

北信越定時制通信制教育振興会の長野県開催にあたり、同窓会より多大なご支援を賜りまして誠に改めて御礼

さて、定時制には今春も十名が入学を果たし、総勢三十七名で新年度をスタートしました。在籍生徒数はこの二十年余りほとんど変わりませんが、定時制を巡る環境は一変しています。勤労青年のために教育の機会を保障するという定時制の本旨に照らしてみても、本校は機械科で全員が男子生徒でありながら、就労率は六十%を切り、正規雇用に限ればゼロという数字が様変わりした定時制の現状と世相の厳しさを物語っています。生徒たちの定時制への入学動機や背景も多様化の一途を辿っています。しかし、それはとりもなおさず、少人数教育を必要とする生徒達の存在、そして従来とは違う定時制教育のニーズの高まりを示すものでもあります。生徒がお世話になつている勤務先を訪ねてみると、彼らも懸命に頑張っていることがわかります。こうした若者に成り就感を与え、進路保障と社会参加の手立てを尽くすことが学校

や地域社会に求められていると思います。幸い「ものづくり」に携わり、地域産業を支えるOBの方も多く、今後さらに緊密な連携を心掛けて参りますので、職業体験や雇用について一層のご支援を賜りたいと存じます。

生徒たちも資格取得やクラブ活動など、それぞれの目標に向かって邁進しています。定時制で学びながら練習を重ね、昨夏野球班がベスト8に進出したチームのレギュラーとして志を貫いた生徒もいます。定時制では仲間との支え合いを日ごろから築きあげていくために課外活動を大切にしています。ですが、とりわけ軟式野球では東信地区で六季連続優勝を続けており、昨秋には北信越大会出場、さらには十年ぶりに秋季県大会優勝を飾り、今夏は二十四年振りの全国大会出場という大きな夢に向かって挑戦します。また先日の東信定通体育大会では、バスケットボールが十六年振りの優勝を果たし、県大会に駒を進めます。



定時制では昨年暮れにホームページを一新しました。どうぞ定時制の日常のひとこまをご覧ください。

第135回東信体育大会結果

○は県大会進出

バレーボール

- 男子 第2位
- 女子 第2位

陸上

- 男子 100m 松島 第7位
- 男子 200m 松島 第5位
- 女子 3000m 前澤 第6位 滝澤 第8位
- 走幅跳 吉沢 第6位
- 三段跳 上原 第7位 吉沢 第5位
- 400mリレー 吉沢・上原・矢上・松島 第4位

ソフトテニス

- 団体
- 男子 第1位
- 女子 第6位
- 個人
- 男子
- 中田・渡邊 第1位
- 倉嶋・浅沢 第4位
- 赤地・北川 ベスト16
- 浅野・徳武 第3位
- 小林・赤沼 第6位
- 宮下・高橋 ベスト10
- 女子
- 小池・翠川 第9位

サッカー

- 男子 初戦敗退

剣道

- 団体
- 男子 予選リーグ敗退
- 女子 第6位
- 個人
- 男子
- 西沢 第8位

空手

- 個人
- 組手 原 県大会出場

ハンドボール

- 男子 第4位

バスケットボール

- 男子 第6位
- 女子 初戦敗退

バドミントン

- 男子 初戦敗退
- 女子 1回戦敗退

卓球

- 男子
- 団体 第8位
- 個人 関 県大会出場
- 女子
- 団体 第3位
- 個人 ダブルス 松谷・小林 第8位 シングルス 松谷 ベスト16 西澤 ベスト16 小林 ベスト16

弓道

- 男子 団体 第7位
- 女子 団体 第8位

柔道

- 男子 団体 予選敗退 個人 100kg 未満 竹内 第4位
- 女子 団体 第4位

水泳

- 男子
- 200m自由形 尾美 第2位
- 400m自由形 浅井 第1位
- 1500m自由形 浅井 第1位 丸山 第3位
- 200mバタフライ 柳沢 第1位
- 200m個人メドレー 尾美 第2位
- 400mリレー 第3位
- 800mリレー 第2位
- 400mメドレーリレー 第3位
- 総合 第3位
- 女子
- 800m自由形 石曾根 第3位
- 100m背泳ぎ 西沢 第3位

- 200m背泳ぎ 西沢 第3位
- 200m個人メドレー 高橋 第3位

総体水泳競技大会結果

- 男子 1500m自由形 浅井 第6位
- 男子 800mリレー 尾見・柳沢・宮入・浅井 第6位
- 女子 800m自由形 石曾根 第8位

県体育大会結果

- バレーボール
- 男子 ベスト16
- 女子 ベスト16
- 卓球
- 男子 団体 初戦敗退
- 女子 団体 2回戦敗退
- ソフトボール
- 女子 1回戦敗退
- ソフトテニス
- 男子 団体 第1位 個人 中田・渡邊 第1位 浅野・徳武 第3位 小林・赤沼 ベスト16 宮下・高橋 ベスト16
- 女子 団体 2回戦敗退
- バスケットボール
- 男子 1回戦敗退
- ハンドボール
- 男子 1回戦敗退
- 空手
- 個人 原 1回戦敗退

春期北信越野球大会結果

- 東信予選
- 1回戦
- 4月24日(土) 小諸南城球場 小海高校 13対0勝利(7回コールド勝ち)
- 2回戦
- 4月25日(日) 県営上田球場 上田東高校 3対2勝利(9回サヨナラ勝ち)
- 準々決勝
- 4月29日(木) 小諸南城球場 小諸商業高校 11対2勝利

- 準決勝
- 5月2日(土) 県営上田球場 上田高校 5対3惜敗
- 3位決定戦
- 5月3日(日) 県営上田球場 丸子実業高校 9対8勝利(延長14回)

県大会

- 1回戦
- 5月14日(金) 大田市営球場 塩尻志学館高校 5対4 勝利
- 準々決勝
- 5月15日(土) 松本市営球場 長野吉田高校 7対6 勝利(延長12回サヨナラ勝ち)
- 準決勝
- 5月17日(月) 松本市営球場 諏訪清陵高校 6対5 勝利(延長10回サヨナラ勝ち)
- 決勝
- 5月18日(火) 松本市営球場 武蔵工大二高 8対9 惜敗

北信越大会

- 1回戦 6月4日(金) 遊学館 4-5 勝利(富山アルペンスタジアム)
- 2回戦 6月5日(土) 富山商業高校 7-0 惜敗(富山アルペンスタジアム)

第45回 千曲祭テーマ

セブン



開催日: 8月28日(土)・29日(日)

意義

専門高校ならではの日頃の学習や、生徒会・クラブ活動の成果を発表し、校内の連帯を深めると共に、地域の人々に千曲高校を理解してもらい、好意と支持が得られるようにする。

基本方針

1. 生徒一人一人が役割を分担し、全校生徒が主体的に関わる。
2. 文化班や同好会の活動及びクラス発表や全校企画を通して、クラスの連帯を深める。
3. 専門科を持つ本校の特色を生かした研究発表を通じて、広く地域の人々に本校の素晴らしさをより一層理解してもらい、好意と支持を得る。
4. 祭りとして楽しみ、校内の親睦を深める。

皆さんが楽しめる企画を用意しております!!

●各コース・クラブ・クラス発表、好評のバザー・喫茶・お化け屋敷など只今企画中です!!

皆様のご来場をお待ちしています!!

みえてきた甲子園

野球部を育てる会長 丸山 正明(33歳)

いつも同窓会の皆様はじめ多くの皆様野球部の活動にご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。上田千曲野球部も新津部長、日置監督のもと三年経過しました。今年四月二十五名の一年生が野球部に入学され総勢五十四名(内二十名は寮生活)で毎日練習を行っております。冬のきびしい筋肉トレーニングを経て昨年上田日本無線さざなみ会のピッチングマシン一台寄贈で計五台のピッチングマシンをフルに使用し毎日本格的なバツティン

グ練習に入っております。春の県大会で決勝戦でおしくも武蔵工大二高に接戦の末九対八で負けましたが長野県代表として二校北信越大会出場権を獲得しました。上田千曲野球部五十七年目にして北信越大会に於て第一戦

同窓会員名簿発行のお知らせ

前号にもお知らせしました様に会員名簿の発行を今年の十二月に予定し、その準備をしております。

発行は(株)サラトに委託しております。皆様にはすでに、往復ハガキにて住所等の調査、予約注文が有りましたと存じます。郵便物の発送元、受取先は母校、上田市中之条上田千曲高校同窓会となっております。価格は送料込にて四百五十円です。

今後(発行後)でも購入の希望がありましたら同窓会事務局まで御一報下さればと存じます。以上、(前)「上田千曲高校同窓会名簿(人事新報社)定価九千八百円のハガキが郵送された事がありました。これは母校、同窓会とは無関係でありますので御注意願います。

住所が合併特例法の十七年三月までの確定があれば、市町村名は改名にて発行の予定です。今後住所、改名、勤務先の変更等がありましたら事務局宛にて御一報願います。